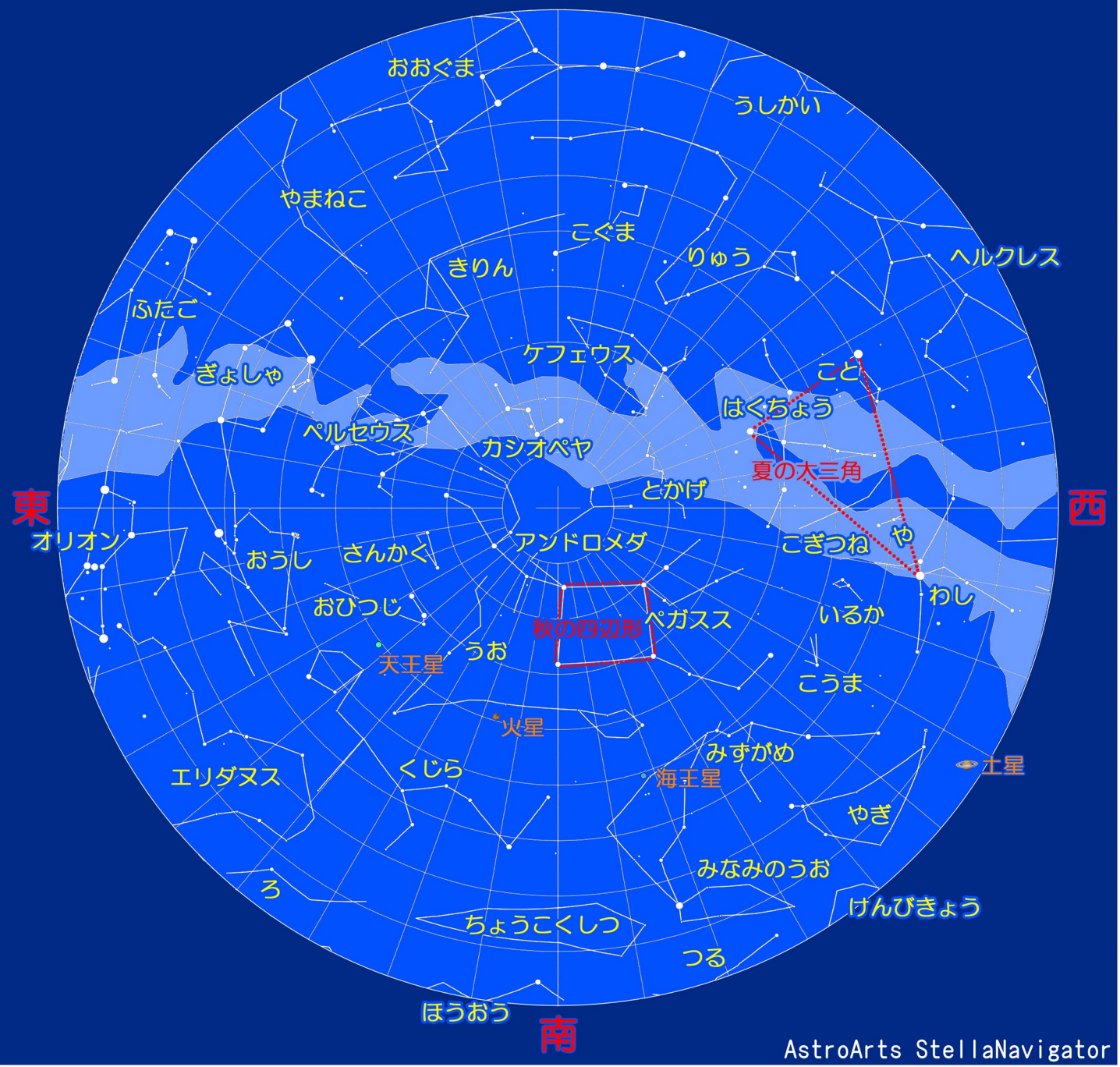




# 銀河の森天文台 2020年11月みどころ天体情報

11月の星空(15日 20:00頃)



AstroArts StellaNavigator

## 月 出没

8日 ● 下弦 22:10 12:41  
 15日 ● 新月 05:49 16:12  
 22日 ● 上弦 12:35 22:58  
 30日 ● 満月 15:45 06:09  
 天文台から月を見ることができるのは1~6日頃と18~30日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。  
 距離：約38万km

## 火星

10月6日に最接近となった火星ですが、11月いっぱい是最接近時の80%以上の直径で見ることができます。まだしばらくは表面の様相を観察することができるでしょう。  
 太陽からの距離：約2億2790万km

## 天王星・海王星

太陽系の外側から2つの惑星、天王星と海王星が見頃を迎えています。天王星はグリーンっぽく、海王星はブルーっぽく見えるのが印象的です。  
 太陽からの距離  
 天王星：約29億km  
 海王星：約45億km

## M15 (球状星団)

秋を代表する球状星団でちょうどペガスス座の鼻先に位置しています。明るく非常に密集した球状星団で望遠鏡では星が密集した様子を観察することができます。  
 距離：約3万3600光年

## M76 (惑星状星雲)

M27「あれい状星雲」を小さくしたような形に見えることから、「小あれい星雲」と呼ばれています。NGCカタログでは2つの明るい部分のうち、北側がNGC651、南側がNGC650と二つの番号がつけられています。距離：約2000~6000光年

## NGC7331 (銀河)

ペガスス座に位置する、渦巻銀河です。比較的大きく明るい銀河で、伴銀河も一緒に見ることができます。すぐ近くには、5つの銀河が近接して見える、ステファンの五つ子があります。距離：約4000万光年

## アルマク (重星)

色違いの重星では、はくちょう座のアルビレオが有名ですが、このアルマクも負けてはいません。オレンジ色と青色の星が寄り添う姿がとても綺麗です。  
 距離：約394光年

## ちょっとマニア

・北斗七星の下方通過  
 緯度の高い北海道では、北斗七星は地平線の下に沈むことなく、北極星の下を潜り抜けていきます。北の低空に北斗七星が横たわる北海道ならではの星空に注目しましょう。

## その他おすすめ

- ・ M31 (銀河)
- ・ M52 (散開星団)
- ・ NGC1514 (銀河)
- ・ NGC7662 (惑星状星雲)
- ・ アキルド (重星)
- ・ ガーネットスター (恒星)

## 今日のイチオシ!

### ☆M45 (散開星団)

「プレアデス星団」「すばる」と呼ばれるこの星団は、枕草子で「星はすばる」と書かれるなど、古くから親しまれている天体です。アイヌはこの星団を「トランネ・ノチウ(怠け星)」と呼び、神話では怠け者の6(7)人姉妹として登場します。  
 約100個の若い青白い星々からなる星団で、肉眼では5~7個、双眼鏡では数十個の星が集まった美しい姿を見せてくれます。



距離：約410光年 M45

## 11・12月の銀河の森天文台カレンダー

11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
29	30						27	28	29	30	31		

開館時間  
 14:00~22:30 (4月~9月)  
 13:00~21:30 (10月~3月)  
 ■ 休館日